

# 陣中日誌

特 22542

至昭和九年九月五日  
音程抄

Hand 1068  
MS CINCPAC  
B-13797  
OKINAWA BE MOUTH SH

昭和33年4月米政府返還旧日本軍記録文書等史料経歴票  
防衛庁防衛研修所戦史室

表 題	
整理番号	
作成の部隊 庁・個人名等	
作成年月日	明治 大正 昭和 年 月 日 作成 自 年 月 日 至 年 月 日 の間に作成
史 料 の 主 内 容	
備 考 (本史料に因 する参考事項 を記す)	
史 料 の 入 手 経 路	本史料は大東亜戦争中米軍が直接戦場で鹵獲し、又は内地進駐後、陸 海軍諸機関から押収した記録文書の一つであつて、長くワシントン郊 外ワッソニヤ等の記録保管所に保管されていたが、米洞務省に対す る日本政府の返還要求に応じ、昭和33年3月日本側に引渡され、同年4 月横浜着、同月10日指定保管責任付たる防衛研修所戦史室の手に歸し たものである。
責 任 者 氏 名	防衛庁防衛研修所戦史室長 防衛庁事務官 西 浦 進

昭和33年5月調整

行動ノ概要

一 中隊ハ沖繩第四九兵站地区隊本部支那ノ指揮下ニ在  
リテ沖繩縣中頭郡讀谷山村宇波真知ニ露營シ軍用物資  
ノ揚陸搭載運搬並ニ道路工事ニ従事スルト共ニ無學ニ文盲  
ナル朝鮮軍夫ノ教育訓練ニ従事ス

二 九月十四日兵站地区隊作命第百七号ニ基キ那霸港ニ於ケル  
軍用貨物ノ揚陸運搬作業ニ協力セラル

昭和十九年九月三十日

於 濱具知

特設水上勤務隊百四隊隊長 薩摩中尉 中山 忠

九月一日  
晴 金曜日

位置於 沖繩縣中頭郡讀谷山村宇渡具知

内二二五 沖繩縣國頭郡本部渡久地分遣  
現在員五。五

將校 五  
下士官 九  
兵 三三  
軍夫 四六

日直士官 陸軍少尉 海堀太一郎  
下士官 陸軍伍長 片山綾夫  
上等兵 陸軍上等兵 山内正堂

場塔作業  
指揮者 作業人員 区分 時間 場所  
齊田少尉 一三九 道路工事 八時間 此所  
六九 卸積載 十時間半 陸軍

九月二日  
土曜日  
晴

日直士官 陸軍准尉 中島義房  
下士官 同 兵長 佐々木順九郎  
上等兵 同 上等兵 後藤寛治

揚格作業

指揮者 作業人員 区分 時間  
海堀少尉 三四〇 場塔 九時間半

日直士官 陸軍少尉 海堀太郎  
下士官 同 伍長 森寅雄

揚格作業

指揮者 作業人員 区分 時間  
上等兵 同 上等兵 市川時太郎

揚格作業

齊田少尉 三四〇 場塔 十時間  
四二 架積載 十時間

場所 比謝川河口 嘉手納駅

九月四日  
月曜日  
晴

右有急性大腸炎三那霸陸軍病院加療中、処  
全治退院同日飯隊入

日直士官 陸軍少尉 齊田重雄  
下士官 同 伍長 石川二郎

揚格作業

指揮者 作業人員 区分 時間  
上等兵 同 一等兵 林貞夫

揚格作業

海堀少尉 三四〇 場塔 十時間半  
四二 積込 十時間 嘉手納駅

九月五日  
火曜日  
晴

日直士官 陸軍准尉 中島義房  
下士官 同 兵長 谷口榮治

揚格作業

上等兵 同 上等兵 田口秀吉

揚格作業

場所 比謝川河口 嘉手納駅

日命	九月六日 水曜日 晴	指揮者	作業人員	区分	時間	場所
右者	急性大腸炎、疑ニテ那霸縣立病院入院 陸軍。夫 牧山有毅	右者	陸軍少尉 陸軍少尉 兵長 上等兵	同 同 同 同	同 同 同 同	同 同 同 同
右者	陸軍。夫 松田大城、看護附添。命又	日直士官	陸軍少尉 兵長 上等兵	同 同 同	同 同 同	同 同 同
揚格作業	揚格作業	指揮者	作業人員	区分	時間	場所

海堀少尉 一九二 搭載 九時開半 嘉納張

球兵站嘉手納支部作命 於嘉手納

一 本九月六日ヨリ向、約一週間石部隊兵器受領部隊陸軍少尉道久 慮以下四十八名、二 營給養ヲ担任セシメ、三 水上勤務中隊ハ本九月六日昼食ヨリ九月十三 日迄之カ宿營給養ヲ担任スヘシ

三 陸軍々曹高本恭男以下九名九月六日夕 食ヲ一期間前項同一宿營給養ヲ担任ス、

球兵站地区隊命令 九月六日一六 嘉納張

一 軍ハ渡具知揚格場ヲ整備候張ス

道路擴張工事ハ第二十四師團ノ協力ニ依リ縣

嘉納張

日命	九月六日 水曜日 晴	右者 急性大腸炎、疑ニテ那霸縣立病院入院 陸軍。夫 牧山有観	右者 示隊軍夫松田大城、看護附添ヲ命ス 日直士官 陸軍少尉 齊田重雄 下士官 兵長 中島政勝 上等兵 同 帶刃 清	揚格作業 指揮者 作業人員 区分 時間 場所	
指揮者	海堀少尉	作業人員	区分	時間	場所
	一三七	搭載	十時間	比羅河河口	
	八四	同	七時間	同	
	四二	積下	十時間	嘉納駅	
	陸軍。夫	松田正照			
	同	大城鳳和			

海堀少尉 一九二 搭載 九時間半 比羅河河口  
 八六 同 六時間半 夜間 同  
 四二 卸積載 十時間半 嘉手納駅  
 於嘉手納

嘉手納命  
 一 本九月六日ヨリ向一週間右部隊兵器受  
 領部隊陸軍少尉 道久 慮以下四十八名、荷  
 營給養ヲ担任ス  
 二 水上勤務中隊ハ本九月六日昼食ヨリ九月十三  
 日迄之カ宿營給養ヲ担任スヘシ  
 三 陸軍。曹高本恭男以下九名九月六日夕  
 食ヲ一期間前項同一宿營給養ヲ担任スヘシ  
 沖繩兵站地区隊命令  
 一 軍。渡具知揚格場ヲ整備擴張ス  
 二 道石擴張工事ハ第二十四師團ノ協力ニ依リ縣

多分

球兵命

擔任之整備擴張ニ伴フ經理的處理ハ軍經理部長之ニ任ス  
 一地区隊ハ球作命丁第八十三號ニ依リ別紙要圖家屋ノ取壞ニ任セントス  
 二嘉手納支部長ハ第三項家屋ノ取壞ニ任クハシ  
 取壞材料ハ水上勤務第一。四中隊ノ宿營田等ニ適宜使用スヘシ  
 兵站地区隊長高宮大佐

別紙要圖略

九月七日 木曜日 晴  
 日直士官 陸軍少尉 海堀太一郎  
 下士官 同 兵長 佐々木順九郎  
 上等兵 同 上等兵 後藤寛治  
 揚塔作業 指揮者 作業人員 区分 時間 場所

九月八日 金曜日 晴  
 日直士官 陸軍准尉 中島義房  
 上等兵 同 軍曹 重枝武男  
 揚塔作業 指揮者 作業人員 区分 時間 場所  
 一八五 積下 六時開 同 嘉納  
 一四一 同夜間 六時開 同 嘉納  
 三三五 塔載 九時開半 同 嘉納  
 二八 積下 十時開 同 嘉納

集積所擴張作業ハ揚塔作業終了後殘餘兵刀口以テ實施ス

九月九日  
土曜日  
晴

日直士官 陸軍少尉 齊田重雄

下士官 同 在番 石川二郎  
上等兵 同 一等兵 林 真雄

揚塔作業

指揮者 作業人員 区分 時間 場所

海堀少尉 一。八 廣下 土時間 比謝川河口  
六。塔載 九時間 陸軍少尉 嘉手納

九月十日  
日曜日  
晴

日直士官 陸軍少尉 海堀太一郎  
下士官 同 兵長 内田久壽門  
上等兵 同 上等兵 田口秀吉

嘉手納 陸軍少尉 嘉手納支部 於嘉手納

球五八九六作命第四十三號ニヨリ嘉手納支部  
配属、水上勤務中隊一小隊長以テ。名ヨリ與  
那原出巻所長井上中尉、指揮下ニ入ラシメ

作命

特設水上勤務隊第四百中隊命令 九月十日ニヨリ

中隊ハ嘉文作命ニヨリ一小隊長ヲ與那原ニ派遣シ  
出張前長井上中尉、指揮下ニ入ラシメテス

海堀少尉ハ部下小隊長以テ。名ヲ以テ本十四日  
十三時嘉手納駅發列車ニテ與那原ニ至リ井上中  
尉、指揮下ニ入ラシメ

細部ニテハ申島津尉ニテ指揮セシム  
中隊長 山 忠



中隊作命ニ基キ出動作業兵力ヲ交代シ  
 作業ヲ續行ス  
 日直士官海軍少尉中島准一交代服務ス  
 揚塔作業  
 指揮官 作業人員  
 區分 時間 場所  
 齊田少尉 一四〇 煤積前 三時間 揚塔  
 二〇 積下 七時間 揚塔

分遣隊編成

將校 一  
 下士官 二  
 兵 九  
 軍夫 一九

計 二百三名

輸送 十三時 嘉手納駅出發

十六時四分與那原着

十七時十分至海軍部國民學校宿營完了

中隊主力残兵 於渡具知

將校 四(陸軍) 二(下士官) 七(兵) 三(軍夫) 二(六八) 四(機銃) 二

兵員僅少ノタメ 衛兵(露塔)ヲ廢止シ 警戒ヲ

兵(長) 兵(兵) ヲシテ 巡察並ニ警戒ヲニシ

ル兵員ノ勤務狀況左ノ通

事務室 將校 二(中隊長) 下士官 二兵 四

至理室 下士官 一 同 二

致務室 將校 一(中隊長) 同 一 同 一

炊事 同 一 同 二

左表ノ常在勤務員ニシテ 残餘兵員ヲ以テ  
 揚塔作業並ニ其他作業ノ監督指導ニ當

中隊作命 二基 出動作業員乃ヲ交代シ  
作業員 續行 奉  
日直上宮 海堤少尉 中島進 交代服務ス  
揚橋作業

指揮者 作業人員 區分 時間 場所  
齊田少尉 一四〇 蝶原 三時間 櫻井 四〇  
分遣隊編成 二〇 廣下 三時間 喜納 四〇

將校 一  
下士官 二  
兵 九  
軍夫 一九〇

輸送 計 二百三名  
十三時 嘉手納駅出發

十六時 分隊 中隊  
十七時 分隊 中隊 國民學校宿營完了

中隊主力 殘員 於渡具知

將校 四 下士官 七 兵 五 軍夫 二六八 (總計 二)

兵員 僅少 衛兵 路營 敷土 整言 武

兵 線 察 並 二 整言 武 二 當

此兵員 勤務狀況 通

事務室 將校 二 下士官 三 兵 四

至理室 下士官 一 同 二

勤務室 將校 一 同 一

炊事 同 一 同 二

左表 常在 勤務員 二 殘餘兵員 可 以 行  
揚橋 作業 嘉手納 在 作業 監督 指道 二 當

九月十日 日直士官 陸軍准尉 中島義房  
 下士官 同 伍長 森見数馬  
 上等兵 同 上等兵 山内正壹

作業  
 指揮者 作業人員  
 一四〇 集積所  
 六六 積下 九時間  
 場所 比謝川河口  
 嘉手納

分遣部隊 教育訓練 從事

九月十一日 日直士官 陸軍少尉 齊田重雄  
 下士官 同 兵長 芝崎末彦  
 上等兵 同 上等兵 後藤寛治

作業  
 指揮者 作業人員  
 八四 積下 十時間半  
 場所 嘉手納

分遣部隊 教育訓練 從事

九月十日 日直士官 陸軍准尉 中島義房  
 下士官 同 兵長 村上主計  
 上等兵 同 上等兵 馬渡寅雄

作業  
 指揮者 作業人員  
 六〇 積下 九時間半  
 場所 嘉手納

分遣部隊 教育訓練 從事

九月十四日 日直士官 陸軍少尉 齊田重雄  
 下士官 同 軍曹 安部盛雄  
 上等兵 同 上等兵 永田一夫

作業  
 指揮者 作業人員  
 二二〇 揚陸 九時間  
 場所 比謝川河口

分遣部隊 教育訓練 從事

九月十日 日直士官 陸軍少尉 齊田重雄  
 下士官 同 軍曹 安部盛雄  
 上等兵 同 上等兵 永田一夫

作業  
 指揮者 作業人員  
 二二〇 揚陸 九時間  
 場所 比謝川河口

九月一日 日直士官 陸軍准尉 中島義房  
 晴曇 下士官 同 森見数馬  
 上等兵 同 山内正壹

作業  
 指揮者 作業人員 区分 時間 場所  
 齊田少尉 一四〇 藤原新 九時間 比謝川河口  
 六六 積下 土時間 吉加手納取

分遣部隊 九月十一日 日直士官 陸軍少尉 齊田重雄

九月十一日 日直士官 陸軍少尉 齊田重雄  
 大雁日 下士官 同 兵長 芝崎末彦  
 上等兵 同 後藤寛治

作業  
 指揮者 作業人員 区分 時間 場所  
 齊田少尉 八四〇 藤原新 十時間半 吉加手納取

分遣部隊 九月十一日 日直士官 陸軍准尉 中島義房

水雁日 下士官 同 兵長 村上主計  
 晴 上等兵 同 馬渡寅雄

作業  
 指揮者 作業人員 区分 時間 場所  
 齊田少尉 六〇 藤原新 九時間半 吉加手納取  
 海堀少尉 一〇〇 搭載 五時間 磯形原兵

九月十四日 日直士官 陸軍少尉 齊田重雄

木雁日 下士官 同 軍曹 安部盛雄  
 晴曇 上等兵 同 永田一夫

作業  
 指揮者 作業人員 区分 時間 場所  
 齊田少尉 三〇 楊陸 九時間 比謝川河口

海堀少尉 一六。 九時間 與那原揚陸場

本日 本職

本十四日現地視察並ニ業務打合、為ニ泊三日  
予定ヲ以テ與那原及那兵站本部ニ出張ス

陸軍兵長 佐々木順九郎

右者本職出張間隨行ヲ命ス  
陸軍少尉 齊田重雄

右者本職出張間代理ヲ命ス  
日直士官 陸軍准尉 中島義房

下士官 同 兵長 中島政勝

上等兵 同 上等兵 細井保一

作業 指揮者 作業人員 区分 時間 場所

海堀少尉 大。 積下 三時間半 直野納取

九月十五日  
金曜日  
曇雨

分遣隊 海堀少尉 一六。 九時間 與那原揚陸場

為係命 沖繩兵站地区隊命令 九時十五分 於那

一 球五八九六作命第四十三號ニテ與那原ニ配屬セ

シ特設水上勤務第百四中隊ノ一小隊分附十六

原前屬ニ復飯スヘシ

二 那霸停車場司令八前項部隊ノ輸送ニ任

兵站地区隊長 高宮大佐

中隊命 特設水上勤務第百四中隊命令 九時

一 球五八九六作命第五十三號ニ依リ與那原派

遣セシ海堀少尉ハ附十六日復セシメラル

二 輸送ニ于テハ那霸停車場司令ノ計畫ニ依

ルヘシ

中隊長 中山 忠

天候

十六時三十分頃ヨリ次第天候悪化シ速ニ果テ  
風雨トナリ露營不能トナリ夕止モ不眠ノ儘一夜  
ヲ凌ク

九月十六日

土曜  
日曇

日直士官

陸軍少尉

齊田重雄

下士官

同 軍曹

重枝武男

上等兵

同 上等兵

市川時太郎

作業

指揮者 作業人員

区分 時間 場所

齊田少尉

二七 積下

四時間

嘉手納駅

作業八時五時ヨリ実施ス

分遣部隊本日飯際ノ予定ナリタルモ

夕メ翌十七日ニ変更ス

露營地ヲ撤収シ渡具知部一円二分宿ス

宿營状況附圖ニ表シ如シ

天候

露營

露營地ヲ撤収シ渡具知部一円二分宿ス

宿營状況附圖ニ表シ如シ

九月十七日

日曜  
日晴

日直士官

陸軍准尉

中島義房

下士官

同 伍長

石川二郎

上等兵

同 上等兵

須賀三郎

作業

指揮者 作業人員

区分 時間 場所

齊田少尉

六五 積下

五時間

嘉手納駅

分遣隊

與那原ニ分遣セシ海堀小隊十二時二十五分同  
地出發十五時三十分嘉手納着 十六時五十分

本隊ト合ス(二百二名)

陸軍兵長 村田 稻太郎

右者右肺浸潤ノ疑ニテ那覇第一陸軍病院ニ  
入院ス

總員七三〇

國東部渡地分遣二二五

入院

三

附添 一

現在員五〇一名

九月六日 日直士官 陸軍少尉 齊田重雄

上官 同 伍長 森見數馬

上等兵 同 上等兵 山内正壹

揚塔作業

指揮者 作業人員 区分 時間 場所

海堀少尉 三二〇 揚塔 七時間 比謝川河口

六五 積下 十時間半 嘉摩納駅

三小隊一分隊 軍夫 屋山億石

右着船内作業員トシテ揚塔作業ニ從事中

本日稍波荒ク本船ヨリ上陸用舟艇ニ材木

ヲ積込中該材木ニテ左足ヲ骨折ス

三小隊 軍夫 松田正照

右着九月五日急性大腸炎ニテ那覇縣立病院

ニ入院セシカ漸次病勢悪化シ危篤ノ旨大

邱朝鮮第二十四部隊留守隊長ニ打電ス

日直士官 陸軍准尉 中島義房

上官 同 兵長 芝崎末彦

上等兵 同 上等兵 後藤寛治

揚塔作業

指揮者 作業人員 区分 時間 場所

海堀少尉 三三〇 揚塔 四時間 比謝川河口

六四 積下 十時間半 嘉摩納駅

九月七日渡久地分遣隊現地視察ノ夕メ一泊ニ

日ノ豫定ヲ以テ出張ス

陸軍兵長 佐々木順九郎

日命

九月十九日 火曜日 晴

九月六日 月曜日 晴

口達

右者本職出張間隨行ヲ命ス  
陸軍少尉 齊田重雄  
右者本職出張間代理ヲ命ス  
同日二十四時 軍夫松田正照死亡ノ旨直ニ屍  
衛兵ヲ差出スヘシトノ命令ヲ兵站支部ヲ通  
シテ受領ス  
陸軍衛生一等兵 木村晴二  
外軍士夫 五名

九月二十日  
水曜日  
晴  
右者故陸軍少尉松田正照ノ屍衛兵トシテ本  
夜直ニ出茂那霸縣立病院ニ至リ服務スヘシ  
二十日一時三十分兵站支部貨物自動車ニテ出茂ス  
日直士官 陸軍少尉 齊田重雄  
上官 兵長 村上主計  
上等兵 同 森山 壽

日命

作業  
指揮者 作業人員 区分 時間 場所  
海堀少尉 二二 橋敷 七時間 此新川河口  
六二 積下 九時間半 嘉納駅  
中隊長同日渡久地分遣隊現地視察ノ夕八時出茂  
陸軍准尉 中島義房  
同 上等兵 細井保一  
同 安部吾六  
右者軍夫松田正照遺骨率領ノ夕メ本日  
ヨリ二泊三日ノ予定ヲ以テ那霸縣立病院並  
ニ兵站本部ニ出張ヲ命ス  
三小隊一分隊 陸軍少尉 星山億石  
右者同日那霸縣立病院ニ入院ス  
陸軍少尉 橋本正二 外軍士夫四名ヲ以テ右者



ノ護送ニ任セシム  
同日前病看護看護軍夫牧山有儀 同軍夫大山  
剛ト交代服務ス  
總頁七三。 渡久地分遣 二二五  
入院 三(兵軍夫三  
一(死七)

現在頁五。名於中頭郡讀谷山村字渡具知

九月二十日  
木曜日  
晴曇

日直士官 陸軍少尉 海堀太一郎  
下士官 同 伍長 森 寅雄  
上等兵 同 上等兵 市川時太郎

作業  
指揮者 作業人員 区分 時間 場所  
齊田少尉 六三 廣下 森蘭平 嘉納駅  
十八時三十分中隊長飯塚

日命

陸軍衛生部見習士官 大高喜志夫  
陸軍伍長 森見數馬

右看護陸軍ノ属山本益源向松田正照遺骨還  
送ニ係ル還送事務打合、夕、那霸軍司  
令部並ニ兵站本部ニ明二十日ヨリ一泊二日  
ノ予定ヲ以テ出張ヲ命ス

九月二十日  
金曜日  
晴曇

日直士官 陸軍少尉 海堀太一郎  
下士官 同 伍長 片山綾夫  
上等兵 同 上等兵 永田一夫

作業  
指揮者 作業人員 区分 時間 場所  
齊田少尉 六四 廣下 十時間 嘉納駅  
軍ノ通報ニヨリ近自中ニ死亡者遺骨内地還  
送ノ予定、自通報アリ依ッテ明二十三日慰靈祭

日命

ヲ執行セシトス  
明ニ三日別紙計畫ニ依リ那霸市真教寺ニ於テ  
故陸軍々屬山本益源並ニ松田正照ノ慰靈祭  
ヲ施行スルニ付左記ノ者ハ参列スヘシ  
服装ハ單独ノ軍装トス

左記

第一小隊長	齊田少尉
第二小隊長	海堀少尉
衛生部見習官	大隅軍醫
陸軍曹長	梶原正照
	外三名

別紙計畫左ノ如ク

實施日 九月二十三日(十時ヨリ)  
場所 那霸市真教寺

表土 陸軍中尉 中山 忠

委員長 海堀少尉

委員 坂根曹長 森見伍長

庶務 阿部軍曹 (進行係ノ兼ス)

會計係 坂根曹長

祭場係 森伍長

参列者 齊田少尉 上官一兵六

軍夫二〇

軍夫ハ各小隊組長及軍夫長ノミ

日直士官 陸軍少尉 齊田重雄

上官 同 軍曹 安部盛雄

上等兵 同 上等兵 小峯太一

作業 指揮者 作業人員 区分 時間 場所

九月三日  
土曜 日  
曇

本川伍長 五五 積下 十時間 嘉手納駐  
隊長祭主トナリ故陸軍々屬松田正照並山本  
感靈祭那霸市真教寺ニ於テ十時ヨリ  
行十一時半終了ス

兵站作命

十四時三十分全員既隊ス  
沖繩兵站地区隊命令

九月二十三日一六〇六  
於那霸

嘉手納支部長ハ明二十四日ヨリ當分ノ間既屬  
水上勤務隊ヲ那霸ニ前進セシメ本部作  
ニ協力セシムヘシ

那霸停車場司令ハ前項輸送ヲ擔任スヘシ  
細部ニ干シテハ山崎大尉ヲ指示セシム

兵站地区隊長 高宮大佐

作命

特設水上勤務中隊命令

九月二十三日一八〇〇  
於渡日

中隊ハ五八九六作命第七〇號ニ依リ

那霸ニ前進セシメ本部作業ニ協力セントス

齊田及海堀少尉ハ部下小隊（含指揮班軍夫）ヲ引

卒シ明二十四日八時嘉手納駐紮那霸ニ向ヒ前  
進スヘシ

齊田少尉ハ那霸停車場司令ト連絡シ之ヲ輸  
送ニ任スヘシ

四大隅軍醫及中島准尉指揮班患看舎ニハ  
渡具知ニ在リテ前任務ヲ續行スヘシ

予ハ主力ト共ニ那霸ニ前進ス

中隊長 中山 忠

九月二十日  
日曜日  
晴

中隊ハ兵站本部作命第七十號ニ基キ兵力四  
一六名那霸港揚塔作業ニ應援協力セシム  
メ八時完備嘉手納駐紮那霸港ニ向フ  
十四時兵力集結十五時那霸港第一集積前

残留員

附近宿營完了  
那霸市西新町大正劇場收容ス

八四名

日直士官

陸軍准尉 中島義房

自九月三日  
至十月四日

下士官

兵長

中島政勝

上等兵

田口秀吉

日直下士官

陸軍軍曹

橋本正二

九月三日  
月曜日

上等兵

馬渡寅雄

晴

那霸ニ於ケル作業左ノ如シ

指揮者

作業人員

区分

時間 場所

齊田少尉

一九。場搭

十時間

照屋一  
岸空

海堀少尉

一七。五。場搭

十時間

第一集積所

其他

毎日留中隊ヨリ連絡兵一ヲ派シ本隊及留  
守隊間ノ連絡ヲ保持ス

九月三日  
火曜日

日直下士官

陸軍兵長

谷口榮治

晴

上等兵

同 上等兵

小峯太一

那霸港ニ於ケル作業左ノ如シ

指揮者

作業人員

区分

時間

場所

齊田少尉

一六。積下

十時間

第一集積所

海堀少尉

一一。二。積下

十時間

第一集積所

五。一。場搭(夜)十時半

那河川丸

九月三日  
水曜日

日直下士官

陸軍伍長

森見數馬

晴

上等兵

同 上等兵

山内正壹

那霸港ニ於ケル作業左ノ如シ

指揮者

作業人員

区分

時間

場所

齊田少尉

一六八。場搭

十時間

第一集積所

海堀少尉

一三六。場搭

十時間

第一集積所

那霸場揚作業從事軍夫中、應有他体力消